

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局		商工観光部				
施策の内容(番号)		130		~	131	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。	B	①	商業振興労政課
131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。	D	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上	C	三重労働局との連動による障がい者と企業の就職マッチングの場の創出、市内企業へのUIJターン就職のための就職活動及び新生活に係る補助や要件を満たした東京圏からの移住者に対する支援金の交付事業を実施するなど、雇用の創出・拡大に努めていますが、移住支援金については活用実績がありませんでした。
	B 60点以上80点未満		
	C 40点以上60点未満		
	D 20点以上40点未満		
E 20点未満			

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	C					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり			
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備		管理コード	061442130
		施策	42	雇用の創出・拡大		本冊ページ	95
	関連個別計画						
担当部局		商工観光部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
				何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
130-1	障がい者就労相談事業 商業振興労政課	三重労働局と連携し、合同企業相談会の開催、障がい者雇用促進に係る広報誌、ホームページへの登載、チラシ・ポスターの掲示を行う	効	三重労働局との連携のもと、障がい者と企業の就職のマッチングの場をすることにより障がい者雇用の促進を図る	◆ 年1回開催	○	市内8企業に出展していただき、21名の障がい者の方にご参加いただき、マッチングの機会を作りました。企業等の障がい者雇用率が引き上げられていることから、引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい者	◇ 障がい者雇用の促進	○	
			何	市内企業において働く場づくりを行う	0 (千円)	現状維持	
130-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
130-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
130-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
130-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

130-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
130-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
130-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
130-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
130-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	B
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	D	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442131
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
		関連個別計画				
	担当部局	商工観光部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何	誰	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
			何	誰	決算額 (千円)	今後の方向性	
131-1	UIJターン促進事業	市内企業へのUIJターン就職のための就職活動や新生活に係る補助	効	企業の人材不足解消や就職を希望する人を応援するとともに、移住支援をすることができる	◆ ふるさと就職活動応援奨励金 3千円～(在住地域による) ふるさと就職新生活応援奨励金 一律5万円	○	本事業において補助金を交付することで、就職活動や新生活をする市外・県外在住者が津市への移住を支援することができた。今後周知活動を行った上で、継続することで、移住者の増加に貢献していく。
	誰		市内企業、津市に就労を希望する市外・県外在住者	◇ 市内企業等の雇用	○		
	何		津市内の企業に就職し、津市への移住を支援する	960 (千円)	現状維持		
131-2	移住支援事業	県との連携による東京圏からのUIJターン就職の促進	効	津市内の企業に就職し、津市への移住を支援する	◆ 移住支援金の交付 単身による移住 60万円 世帯による移住 100万円	×	本事業の実績が得られていないことから、今後は周知活動を行うことに加え、企業訪問等を行い、マッチングサイトの紹介をすることで、移住者が利用しやすい事業としていく。
	誰		移住を希望する東京圏在住者	◇ 定住人口の拡大	×		
	何		津市内に移住し、市内企業等への就労を支援する	0 (千円)	拡充・充実		
131-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
131-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
131-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

131-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
131-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
131-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
131-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
131-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	D
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	D					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

